

試合会場レポート

[試合番号]特設1

[開催日]2011/10/30

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]11:02

[終了時間]12:13

[試合時間]1:11

[主審]松延 亮一

[副審]桜村 雅美

[記録員]高田 明美

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：牧内 梓

3	25	第1セット 【 0:25】	21	0
	25	第2セット 【 0:20】	18	
	25	第3セット 【 0:20】	17	
		第4セット 【 : 】		
		第5セット 【 : 】		

東洋大学附属牛久高等学校

監督：鈴木 敦子

コーチ：高橋 美樹

【 】内はセット時間

戦評

第1セット序盤、東洋大学附属牛久高等学校4番北島のレフトからのスパイクや、速いレシーブからの3番成島のセンター攻撃が土浦日本大学高等学校のレシーブを翻弄し、東洋大牛久が優位に試合を進める。6-10となったところで土浦日大たまたまタイムアウトを取る。その後も土浦日大1番鈴木のライト攻撃や、2番赤津のクイックで得点を取るが、東洋大牛久もレシーブで粘りバックアタックを含めた速いテンポの攻撃でリードを守る。土浦日大鈴木スパイク・サービスエースもあり、15-16となったところで東洋大牛久タイムアウト。土浦日大は守備固めのメンバーチェンジで7番中田を投入し、安定したレシーブから効果的なフェイント・強打を織り交ぜ、東洋大牛久のレシーブを乱し19-17と逆転する。東洋大牛久は2回目のタイムアウト後、北島のスパイクで応戦するも土浦日大がミスもありながら25-21と粘る東洋大牛久を振りきった。

第2セットは土浦日大がセンターからの速い攻撃で得点を重ね、東洋大牛久のリズムを崩し8-4とリードを奪う。東洋大牛久はタイムアウト後にサーブで土浦日大を崩しすぐに追いつく。中盤までは一進一退の攻防が続くが、土浦日大が赤津のセンターからの速攻で徐々にリードを広げる。東洋大牛久も速いテンポで応戦するが、土浦日大もレシーブが安定してきたため攻撃の速さが出てきた。25-18と土浦日大が第2セットを連取した。

第3セットは序盤、東洋大牛久にミスが続き9-2と土浦日大が大きくリード。レシーブに乱れが出てきた東洋大牛久は、レフトからのブロックアウトやフェイントにより土浦日大の高いブロックに対応するも連続得点がなかなか奪えず、第3セットも25-17と土浦日大がこのセットも連取した。

セットカウント3-0で土浦日大が5年連続12回目の本大会出場を決めた。